

外科

《概要》

外科は、消化器外科、内分泌外科、小児外科領域の専門医療を担当している。2008年4月1日に、飯干泰彦 Dr. が兵庫医科大学第一外科より、山村憲幸 Dr. が大阪大学医学部附属病院第一外科より、2008年10月に、藤井亮知 Dr. が国立病院機構呉医療センターより赴任した。2008年3月31日に水島恒和 Dr. が大阪厚生年金病院へ、宇田津有子 Dr. が近畿大学医学部附属病院小児外科へ、友國 晃 Dr. が大阪大学医学部附属病院第一外科へ、岡澤美佳 Dr. が市立貝塚病院産婦人科に転任された。2009年3月31日現在10名の医師で以下の手術実績を遂行した。

伊豆蔵正明（昭和52年卒） 院長代行兼消化器センター長兼外科部長
位藤俊一（昭和59年卒） がん治療センター長兼外科部長
水野 均（昭和60年卒） 外科部長
飯干泰彦（昭和62年卒） 外科部長
山村憲幸（平成6年卒） 外科医長
杉村啓二郎（平成14年卒） 外科医員
藤井亮知（平成14年卒） 外科医員
楠本英則（平成16年卒） 外科非常勤医員
中川 朋（平成16年卒） 外科非常勤医員
岸本朋也（平成17年卒） 外科非常勤医員

《実績》（2008.1.1～2008.12.31）

1. 頭頸部	
（1）甲状腺良性腫瘍	2
（2）甲状腺癌	10
（3）その他	3
小計	15
2. 乳腺・胸壁	
（1）乳腺良性腫瘍	8
（2）乳癌	72
小計	80
3. 食道	
（1）悪性腫瘍	5
小計	5

4. 胃・十二指腸	
(1) 胃潰瘍	2
(2) 十二指腸潰瘍	3
(3) 胃癌	52
(4) その他	4
小計	61
5. 大腸・小腸	
(1) 結腸癌	36
(2) 直腸肛門癌	24
(3) 大腸悪性その他	5
(4) 大腸ポリープ	3
(5) 特発性大腸穿孔	1
(6) 肛門膿瘍	3
(7) 痔瘻	6
(8) 痔核	9
(9) 虫垂炎	54
(10) その他	14
小計	155
6. 肝	
(1) 肝良性腫瘍	1
(2) 肝細胞癌	4
(3) 転移性肝癌	9
(4) 胆管細胞癌	2
(5) その他	1
小計	16
7. 胆道	
(1) 胆石・胆嚢炎	58
(2) 総胆管結石	7
(3) 胆嚢癌	5
(4) 胆嚢腺筋症	2
(5) 胆嚢ポリープ	5
小計	77
8. 膵	
(1) 良性疾患	1
(2) 膵癌	7
小計	8
9. イレウス	
(1) イレウス	15
小計	15

10. 門脈圧亢進症	
(1) その他	1
小計	1
11. ヘルニア	
(1) 外鼠径ヘルニア	99
(2) 内鼠径ヘルニア	15
(3) 大腿ヘルニア	2
(4) 内視鏡下術	8
小計	126
12. 腹壁・末梢血管・後腹膜・外傷・他科手術・その他	
(1) 腹壁癒痕ヘルニア	7
(2) 臍ヘルニア	5
(3) 他科	27
(4) その他	56
小計	95
総計	654

《業績》

(1) 原著、総説、著書 (2008. 4~2009. 3)

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	リンパ節(経静脈造影超音波に関して)乳癌領域リンパ節における造影超音波	位藤 俊一	臨床画像	24	569-574	2008
2	フローイメージング	宮本 幸夫 位藤俊一 井野貴明 岩崎 亘 植野 映 榎本克久 奥野敏隆 貴田岡正史 熊谷史範 倉田富雄 小西 豊 坂井威彦 佐々木栄司 白川崇子	乳房超音波診断ガイドライン, 南江堂, 日本乳腺甲状腺超音波診断会議	2	115-124	2008
3	超音波ガイド下インターベンションマニュアル	渡邊 良二 位藤俊一 小川尚洋 小野 稔 亀井桂太郎 五味直哉 坂本尚美 沢井清司 芝 英一 田口哲也 中山貴寛 福岡英祐 藤田崇史 水谷三浩	乳房超音波診断ガイドライン, 南江堂, 日本乳腺甲状腺超音波診断会議	2	125-132	2008
4	切除不能肝転移を伴う進行再発大腸癌症例に対するl-Leucovorin 併用 5-FU 肝動注化学療法の検討	水島恒和 水野 均 杉浦孝司 位藤俊一 宇田津有子 岡澤美香 杉村啓二郎 友國 晃 楠本英則 中川 朋 岸本朋也 岩瀬和裕 伊豆蔵正明	癌と化学療法	35	1139-1142	2008

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
5	乳頭部嚢胞内癌が疑われた高齢者乳管内乳頭腫の1例	宇田津有子 位藤俊一 水野 均 水島恒和 伊豆蔵正明 今北正美	手術	62	1363-1366	2008
6	Krukenberg腫瘍を契機として発見された胃微小印環細胞癌の1例	岡澤美佳 松崎慎哉 光田信明 鹿戸佳代子 前田真紀子 大須賀智子 久松武志 岸本朋也 水島恒和 岩瀬和裕 伊豆蔵正明	産婦人科の進歩	60	219-223	2008
7	壁外発育型盲腸癌の1例	杉村啓二郎 水野 均 位藤俊一 水島恒和 宇田津有子 友國 晃 楠本英則 中川 朋 岸本朋也 伊豆蔵正明	日本外科系連合学会誌	33	893-897	2008
8	ダブルバルーン内視鏡が診断・治療に有用であった回腸angiodysplasiaの1切除例	岸本朋也 水島恒和 山森一樹 中村志郎 今北正美 伊豆蔵正明	臨床外科	63	1123-1126	2008
9	保存的治療により軽快した魚骨による小腸穿通の1例	檜山紀幸 水島恒和 位藤俊一 水野 均 中川 朋 伊豆蔵正明	日本臨床外科学会誌	69	2261-2265	2008
10	腹膜播種にて発症した骨外性骨肉腫の1例	久保田康彦 水島恒和 水野 均 中川 朋 今北正美 伊豆蔵正明	日本臨床外科学会誌	69	1528-1532	2008
11	十二指腸癌術後多発大腸脈管性転移の1例	中川 朋 水島恒和 位藤俊一 水野 均 宇田津有子 杉村啓二郎 友國 晃 今北正美 岩瀬和裕 伊豆蔵正明	消化器外科学会雑誌	42	31-35	2009
12	総胆管原発炎症性筋線維芽細胞性腫瘍(炎症性腫瘍)の1切除例	楠本英則 水島恒和 位藤俊一 水野 均 宇田津有子 宮寄安晃 中川 朋 今北正美 岩瀬和裕 伊豆蔵正明	消化器外科学会雑誌	42	43-48	2009

(2) 学会研究会報告 (2008.4~2009.3)

番号整理	演題	発表者	学会・研究会名	年月日
1	当科における鎖骨下静脈穿刺トレーニング法の工夫	岸本朋也 位藤俊一 水野 均 水島恒和 宇田津有子 岡澤美佳 友國 晃 杉村啓二郎 中川 朋 楠本英則 伊豆蔵正明	近畿外科学会(183)	2008.6.14
2	Non-surgical ablationの効果判定における造影超音波検査の検討	杉村啓二郎 位藤俊一 水野 均 水島恒和 宇田津有子 岡澤美佳 友國 晃 楠本英則 中川 朋 岸本朋也 伊豆蔵正明	日本乳腺甲状腺超音波診断会議(20)	2008.4.26-27

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
3	再発乳癌に対し Real-time Virtual Sonography (RVS) を併用した 1 切除例	岸本朋也 位藤俊一 水野 均 水島恒和 宇田津有子 岡澤美佳 杉村啓二郎 友國 晃 楠本英則 中川 朋 伊豆蔵正明	日本乳腺甲状腺超音波診断 会議(20)	2008. 4. 26-27
4	嚢胞性変化を来した乳癌に対し造影エコーを施行した 1 例	村岡玄哉 位藤俊一 水野 均 水島恒和 宇田津有子 岡澤美佳 杉村啓二郎 友國 晃 楠本英則 中川朋 岸本朋也 伊豆蔵正明	日本乳腺甲状腺超音波診断 会議(20)	2008. 4. 26-27
5	全身化学療法抵抗性大腸癌肝転移症例に対する 1-LV 併用 5-FU 肝動注化学療法の成績	水島恒和 水野 均 杉浦孝司 位藤俊一 宇田津有子 岡澤美佳 友國 晃 杉村啓二郎 楠本英則 中川 朋 岸本友也 岩瀬和裕 伊豆蔵正明	日本外科学会(108)	2008. 5. 15-17
6	直腸癌術後局所再発切除症例の検討	水島恒和 水野 均 位藤俊一 宇田津有子 岡澤美佳 杉村啓二郎 友國 晃 楠本英則 中川 朋 岸本朋也 岩瀬和裕 伊豆蔵正明	日本消化器病学会総会(94)	2008. 5. 8-10
7	C Y I 以外に非治癒因子のなし根治度 C 胃癌症例の化学療法の検討	杉村啓二郎 水島恒和 位藤俊一 水野 均 宇田津有子 岡澤美佳 友國 晃 楠本英則 中川 朋 岸本朋也 岩瀬和裕 伊豆蔵正明	日本消化器病学会総会(94)	2008. 5. 8-10
8	腹腔鏡下手術を施行した空腸多発憩室穿孔の 1 例	中川 朋 水島恒和 位藤俊一 水野 均 宇田津有子 岡澤美佳 杉村啓二郎 友國 晃 楠本英則 岸本朋也 今北正美 伊豆蔵正明	日本消化器病学会総会(94)	2008. 5. 8-10
9	早期乳癌に対する超音波ガイド下ラジオ波焼灼療法	位藤俊一 水野 均 水島恒和 宇田津有子 岡澤美佳 杉村啓二郎 友國 晃 伊豆蔵正明	日本超音波医学会学術集会 (81)	2008. 5. 23-25
10	壁外発育型盲腸癌の 1 例	杉村啓二郎 水野 均 位藤俊一 水島恒和 宇田津有子 岡澤美佳 友國 晃 楠本英則 中川 朋 伊豆蔵正明	日本外科系連合学会学術集 会(33)	2008. 6. 12-13
11	転移性肝癌に対する術中ソナゾイド造影超音波の経験	位藤俊一 水野 均 水島恒和 宇田津有子 岡澤美佳 杉村啓二郎 友國 晃 楠本英則 中川 朋 伊豆蔵正明	日本消化器外科学会総会 (63)	2008. 7. 16-18

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
12	腹腔鏡手術を施行した鼠径ヘルニア偽還納の一例	水野 均 中川 朋 水島恒和 位藤俊一 宇田津有子 友國 晃 杉村啓二郎 楠本英則 岸本友也 伊豆蔵正明	日本消化器外科学会総会 (63)	2008. 7. 16-18
13	新臨床研修制度開始後の下部消化管手術後手術部位感染 (SSI) 発生状況の検討	水島恒和 水野 均 位藤俊一 宇田津有子 杉村啓二郎 友國 晃 楠本英則 中川 朋 岸本朋也 伊豆蔵正明	日本消化器外科学会総会 (63)	2008. 7. 16-18
14	CY1以外に非治癒因子のない根治度C胃癌症例の術後の化学療法についての検討	杉村啓二郎 水島恒和 位藤俊一 水野 均 宇田津有子 岡澤美佳 友國 晃 楠本英則 中川 朋 伊豆蔵正明	日本消化器外科学会総会 (63)	2008. 7. 16-18
15	Radio frequency ablation for primary breast cancer	Ito T. Mizuno H. Yamamura N. Sugimura K. Kusumoto H. Nakagawa T. Kishimoto T. Izukur M.	Soul Breast Cancer Symposium	2008. 8. 23
16	術前の乳癌の広がり診断に造影エコーを施行した1例	檜山紀幸 位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 山村憲幸 杉村啓二郎 中川 朋 楠本英則 岸本朋也 今北正美 伊豆蔵正明	日本乳腺甲状腺超音波診断 会議(21)	2008. 9. 14-15
17	画像診断に難渋した非浸潤性乳管癌の1例	井上英俊 位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 山村憲幸 杉村啓二郎 中川 朋 楠本英則 岸本朋也 今北正美 伊豆蔵正明	日本乳腺甲状腺超音波診断 会議(21)	2008. 9. 14-15
18	Real-time Virtual Sonography (RVS) 併用下でラジオ波焼灼療法 (RFA) を施行した1例	柴田尚明 位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 山村憲幸 杉村啓二郎 中川 朋 楠本英則 岸本朋也 檜山紀幸 伊豆蔵正明	日本乳腺甲状腺超音波診断 会議(21)	2008. 9. 14-15
19	後腹膜膿瘍を来した小児虫垂炎の一例	久保田康彦 飯干泰彦 伊豆蔵正明	泉州急性期医療フォーラム (7)	2008. 9. 16
20	T1乳癌に対するラジオ波焼灼療法の可能性	位藤俊一 水野 均 水島恒和 宇田津有子 岡澤美佳 杉村啓二郎 友國 晃 楠本英則 中川 朋 岸本朋也 今北正美 伊豆蔵正明	日本乳癌学会学術総会(16)	2008. 9. 26-27

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
21	Real-time Virtual Sonography を併用しラジオ波焼灼術を施行した一例	岸本朋也 位藤俊一 水野 均 水島恒和 宇田津有子 岡澤美佳 杉村啓二郎 友國 晃 楠本英則 中川 朋 伊豆蔵正明	日本乳癌学会学術総会(16)	2008. 9. 26-27
22	小児の絞扼性イレウス	飯干泰彦 関 保二 澤井利夫 田附裕子 岸本朋也 楠本英則 中川 朋 杉村啓二郎 山村憲幸 水野 均 位藤俊一 伊豆蔵正明	日本臨床外科学会総会 (70)	2008. 11. 27 - 29
23	機能的端々吻合後に吻合部再発をきたした結腸癌の2例	水野 均 楠本英則 中川 朋 位藤俊一 飯干泰彦 山村憲幸 杉村啓二郎 岸本朋也 伊豆蔵正明	日本臨床外科学会総会 (70)	2008. 11. 27-29
24	肺癌化学療法中に小腸穿孔をきたした1例	杉村啓二郎 水野 均 位藤俊一 飯干泰彦 山村憲幸 楠本英則 中川 朋 岸本朋也 伊豆蔵正明 森山あづさ	日本臨床外科学会総会 (70)	2008. 11. 27-29
25	アミノ酸の惹起する細胞内シグナル伝達に対するアスパラギンおよびグルタミンの白血病細胞における効果	飯干泰彦 水野 均 大野 昭 住井論美 水谷珠真 桑垣和世 伊豆蔵正明	日本経静脈経腸栄養学会 (24)	2008. 11. 27-29
26	腹腔鏡にて修復した Reduction en masse の1例	樫山紀幸	りんくう消化器病研究会 (14)	2008. 11. 29
27	保存的治療により軽快した魚骨による小腸穿通の1例	樫山紀幸	大阪大学医学部第一外科同窓会臨床座談会(81)	2009. 3. 28
28	腹膜播腫にて発症した骨外性骨肉腫の1例	久保田康彦	大阪大学医学部第一外科同窓会臨床座談会(81)	2009. 3. 28
29	ダブルバルーン内視鏡が診断・治療に有用であった回腸 angiodysplasia の1切除例	岸本朋也	大阪大学医学部第一外科同窓会臨床座談会(81)	2009. 3. 28
30	総胆管原発炎症性筋線維芽細胞性腫瘍(炎症性腫瘍)の1切除例	楠本英則	大阪大学医学部第一外科同窓会臨床座談会(81)	2009. 3. 28
31	十二指腸癌術後多発大腸脈管性転移の1例	中川 朋	大阪大学医学部第一外科同窓会臨床座談会(81)	2009. 3. 28
32	壁外発育型盲腸癌の1例	杉村啓二郎	大阪大学医学部第一外科同窓会臨床座談会(81)	2009. 3. 28

(3) 学術講演 (2008.4~2009.3)

番号	整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1		本邦における乳癌に対する低侵襲治療の全国実勢調査	位藤俊一	乳癌低侵襲治療研究会(4)	2008.9.26-27
2		乳癌の最新超音波診断とラジオ波焼灼療法	位藤俊一	The 9th Breast Cancer Academia	2008.4.9
3		乳癌に対するラジオ波治療の現状	位藤俊一	乳癌学術講演会	2008.4.18
4		ガイドラインに基づいた乳がん化学療法/分子標的治療の現状	位藤俊一	りんくう乳癌研究会(4)	2008.5.1
5		乳腺超音波診断最前線-3D/4D USからラジオ波治療まで-	位藤俊一	GE超音波フォーラム2008 大阪	2008.9.6
6		表在領域におけるペルフルブタン(Sonazoid)による造影超音波検査の検討	位藤俊一	日本乳腺甲状腺超音波診断会議(21)	2008.9.14-15
7		超音波イノベーションとラジオ波治療	位藤俊一	日本乳腺甲状腺超音波診断会議(21)	2008.9.14-15
8		Recent updates of radio-frequency ablation in breast cancer.	Ito T	International Oncoplastic Breast Surgery Symposium	2008.9.19-20
9		Technique of radio-frequency ablation for primary breast cancer.	Ito T	International Oncoplastic Breast Surgery Symposium	2008.9.19-20
10		新しい吸引式組織生検装置(VACOR A)の使用経験~手技のポイントと新たな展開	位藤俊一	日本乳癌学会学術総会(16)	2008.9.26-27
11		小児の静脈切開による中心静脈ルート確保 133例の経験	飯干泰彦	泉州地区 NST 研究会(7)	2008.11.8
12		日常診療に役立つ乳癌の基礎知識	伊豆蔵正明	りんくう乳癌研究会(5)	2008.11.15
13		小児外科のトピックス	飯干泰彦	泉佐野泉南小児科病診連絡会(28)	2008.11.15
14		Avastin の使用経験	杉村啓二郎	南大阪 Avastin カンファレンス	2008.11.22
15		表在領域における造影エコーの現状	位藤俊一	日本超音波医学会関西地方会講習会(35)	2008.12.6
16		乳癌診療におけるインターベンション-術前診断から Non-surgical ablation まで-	位藤俊一	乳腺診断フォーラム広島(17)	2008.12.13
17		日常診療に役立つ腹部超音波診断最前線	位藤俊一	消化器超音波研究会(近畿)	2009.2.5
18		乳癌診療における超音波診断 up-to-date -Bモード診断からインターベンションまで-	位藤俊一	産婦人科医の更年期ME研究会(8)	2009.2.12
19		最新乳房超音波診断及び乳がんに対するラジオ波治療	位藤俊一	阪神エコーレベルアップミーティング(8)	2009.2.28

(4) 院内研究活動 (2008.4~2009.3)

番号整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	乳がんの治療について	伊豆蔵正明	2008.4.19
2	小児の急性腹症	飯干泰彦	2008.9.18
3	左乳癌に対して Real-time Virtual Sonograoh(RVS)併用下でラジオ波焼灼術(RFA)を施行した 1 例	柴田尚明	2008.9.18